

日本7発 静岡に大勝

SBS2012 カップ 国際ユースサッカー

第2日

第36回SBS杯国際ユースサッカー(日本サッカー協会、県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送主催、エコハウス共催)は17日、県営草薙陸上競技場で第2戦を行った。U-19(19歳以下)日本代表はFW久保裕也(J2京都)の4得点などで静岡ユースに7-2と大勝した。連勝で勝ち点を6とし、2年ぶりの優勝に王手をかけた。U-19ポルトガル代表は終了間際にU-19韓国代表から決勝点を挙げた。ポルトガル、韓国とも1勝1敗。最終日は19日、エコパスタジアムでU-19日本代表・U-19韓国代表(午後3時)、静岡ユース・U-19ポルトガル代表(午後5時20分)を行う。



立ち上がりの甘さ反省

7得点の大勝にもU-19日本代表に笑顔はなかった。1学年下の静岡に開始早々2失点した。ゲームを組み立てた熊谷は「点は取って当然。試合への入り方が甘かった」と厳しい表情を見せた。

前半、静岡の加賀美に2点を許した。攻撃陣が前がかりになり過ぎ、中盤のスベースを突かれた。吉田監督が掲げる「全体が連動したコンパクトな守備」が崩れた。強豪相手なら致命傷になりかねない展開に、日本の目が覚めた。

エース久保はゴール前へのクロスに正確に合わせ前半だけで3得点。後半は野津田、矢島が決定機を落として得点した。守備陣も相手のバランスを取り戻し、中盤で相手の好機の芽を摘んだ。予想外の「苦戦」で、選手の気の緩みは一掃された。

韓国がポルトガルに敗れたことで優勝争いでは圧倒的な優位に立つ。吉田監督は「韓国は絶対に負けない相手。こんな試合内容では物足りない」と最終戦の奮起を促した。

静岡は加賀美の2得点で先手を取ったが、以降は防戦一方。終了間際にセットプレーから宮村、渡辺吉がシュートを放ったが、ゴールを割れなかった。

U-19日本代表に力を見せつけられたが、静岡ユースも立ち上がりは地元客席を沸かせた。

開始わずか20秒。宮村の縦パスに抜け出した加賀美が相手GKに倒された。PKを獲得し、低く位置する縦の2トップで臨んだ。加賀美の相手DFの背後への飛び出しが効果的だった。「自分の持ち味が出せて、ゴール前でいい形ができた」。

2点のリード。1歳上の日本代表を慌てさせると望月主将。ポルトガルの最終戦は静岡の最終ラインの望月主将の意地を見せた。

静岡、開始直後2点先取



U-19日本代表・静岡ユース 前半1分、PKを決定先制し喜ぶ静岡ユースの加賀美(左) 県営草薙陸上競技場

きのこの結果
日本7-2静岡
ポルトガル1-0韓国



U-19韓国代表-U-19ポルトガル代表 終了間際、決勝点を決め喜ぶU-19ポルトガル代表のアレイアス(18) 県営草薙陸上競技場

ポルトガル競り勝ち

【評】ポルトガルが終了間際に1点をもぎ取った。ポルトガルはロングスローがゴール前で混戦となり、途中出場のアレイアスが押し込んだ。韓国は前半の好機を生かせず、後半は相手のスピードのあるサイド攻撃に守勢に回った。

【ポルトガル】4-4-2
GK: ジョアン・ペレイラ
DF: ジョアン・ペレイラ、ジョアン・ペレイラ、ジョアン・ペレイラ、ジョアン・ペレイラ
MF: ジョアン・ペレイラ、ジョアン・ペレイラ、ジョアン・ペレイラ、ジョアン・ペレイラ
FW: ジョアン・ペレイラ、ジョアン・ペレイラ

【韓国】4-4-2
GK: キム・ヒョク
DF: キム・ヒョク、キム・ヒョク、キム・ヒョク、キム・ヒョク
MF: キム・ヒョク、キム・ヒョク、キム・ヒョク、キム・ヒョク
FW: キム・ヒョク、キム・ヒョク

終了間際に泥臭く得点

U-19ポルトガル代表は泥臭いパワープレーで最後にゴールをこじ開けた。韓国の突破に再三、ピンチを迎え、スピードに乗ったサイド攻撃も不発。手詰まりかと思われた終了間際に立

て続けにロングスローを任せつけた。選手がやるべきことを分かっていた」とポルトガル監督「1本目は相手GKが好セーブしたが、2本目は狙い通りの混戦に持ち込みアレイアスが押し込んだ。劇的な勝利で優勝の可能性を最終戦に残した。最後までベストを尽くす」と指揮官は静岡戦を見据えた。

予想に反した結果

U-19韓国代表ソ・ヒョウォン監督の話。ポルトガルの個人技に対応できたが、予想に反した結果となった。(連載なので)選手の起用に注意し、主力を体力温存させることが

得が果敢に攻撃参加するなど、その後も攻撃的な姿勢を見せた。だが、中盤、両サイドとも相手の圧力が厳しかつた。中学時代から(県トレセンなどで)一緒にやっている仲間。気持ちを切り替えて、集大成を見せたい」と望月主将。ポルトガルの最終戦は静岡の最終ラインの望月主将の意地を見せた。